



■創立 / 昭和 29 年 6 月 3 日

■第 68 代 会長 / 廣島 純 幹事 / 鈴木 大次

■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com

■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30

■例会場 / 湘南鎌倉クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 27

第 3285

例会

2023 年

2 月

15 日

天候 曇り

国家「君が代」

ロータリーソング「我らの生業」

「四つのテスト」 鈴木 大次 幹事

《ゲスト・ビジターの紹介》

卓話ゲスト：林 克昌 様

(内外施設工業グループホールディングス株式会社/
東京 RC) (紹介者：岩崎会員)

ビジター：中野 博義 様 (東京 RC)

《会長報告》

・GDP が 2 四半期ぶりに回復したというニュースがありました。当社の業績はどうだろうかという点で当社はソフトウェアの提供をしております。サービス価格は上がっているのだろうかという点では、そうでもないようですが、コロナの影響が少し収まって、回復している業界も出てきているようです。やっと少し陽が差し始めたのかという実感をしております。

昨年 12 月の消費者物価指数、41 年ぶりに上昇したそうです。原因の一つは、エネルギー価格の上昇です。皆様も実感しているのではないのでしょうか。我が家の電気代も過去最高金額の請求がきました。

・湘南学園に吉田芽衣さんと入れ替わりに、フランスから交換留学生が参ります。湘南学園で受け入れをいただくとになっております。9~3 月は、高校 2 年生の学年に在籍するようで、12 月研修旅行に行きます。この学年は中学 3 年の時、カナダへ行く予定でしたが、コロナの影響で叶わず、今回行くことになりました。フランスからの交換留学生も行くこととなりますが、エネルギー価格の問題が出てきます。予定価格の 2 倍の費用がかかりそうだと湘南学園の先生からご連絡をいただきました。カナダでも物価の上昇が続いているようで、キャベツ一つが 8 ドルということで、カナダドルでも千円近いそうです。事業者、家庭生活者はもちろん、留学生にまで影響を及ぼしています。これからも当クラブでは、学生の支援をしていきたいと思っております。ご協力お願いいたします。

《幹事報告》

- ・例会後に、70 周年記念事業実行委員会を開催致します。実行委員は出席をお願いします。
- ・先週 2 月 8 日の理事役員会の報告を致します。
 1. 2023-24 年度理事役員と会務分担について
理事の交代、委員会の構成、委員長副委員長と会務構成について

出席報告

()内は計算に用いた会員数
+〔 〕は Zoom 出席者

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
2月1日	44(42)名	30名	12名	71. 43%	1名	31名	73. 81%
2月15日	44(42)名	26名	16名	61. 90%			

新任の理事に杉原会員が選出されました。

2. 2023-24 年度地区インターアクト委員の件
杉原会員にクラブ青少年奉仕委員長として、
地区 IA 委員を依頼することで承認
3. 米山奨学生世話クラブとカウンセラーの件
米山奨学生の受け入れを承認
カウンセラーについては会長に一任
4. 杉原栄子会員 職業分類変更の件
承認
職業分類 コンサルタント業
5. 創立 70 周年事業実行委員会より報告
大小原副委員長より報告。
国内奉仕はミニバスケットボール大会 (2/8
午後 6 時よりバスケットボール協会関係者
と打ち合わせ)、国際奉仕は棕梨会員により
カンボジアでの奉仕活動を模索中、クラブ
ビジョンは鈴木 (大) 会員とクラブ奉仕委
員会で進める、記念誌は 16 ページで考
えている旨報告。
6. その他
 - ・ 棕梨会員より、プジョン RC ウィーさん
より 2/15 (水) の例会中に zoom を利用し
て記念事業の報告を行いたい旨の連絡があ
った旨報告。3 月 15 日またはイニシエー
ションスピーチの日にはずらせないか先方に
連絡していただくことを一同承認。
 - ・ 大小原会員より、例会に来られない人のため
に、例会時間を朝 (8 時~) や夕方 (18
時 30 分~) に変更してはいかかが提案。
直近候補として 4 月 5 日 (水) 朝例会に
し、理事会を 4 月 12 日 (水) 例会後に変
更することを一同承認。

《スマイル報告》

廣島 純 会長

林克昌様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
中野様、ようこそ。

小河 静雄 会員

林様、わざわざお越しいただきありがとうございます。
卓話 楽しみにしております。

鈴木 大次 会員

内外施設工業グループホールディングス株式会
社、東京ロータリークラブ林様、本日はご遠路を
ありがとうございます。

2 月 8 日、藤沢市ミニバスケットボール協会の皆様
と会食打ち合わせを致しました。

《小話 3 分間スピーチ》



先週、妻の誕生日で誕生日のケーキを焼いていまし
た。うまくいなくてやり直しをしていたら、遅刻
してしまいました。

先日、卓話で元統合幕僚長の齋藤さんにお越しいた
だきました。大学を卒業して歯科医となりましたが、
私は自衛隊の歯科医官になりたかったのですが、な
かなか募集がなく、歯科医の仕事の休みを取って、
自衛隊の訓練に参加しておりました。

自衛隊は全くの縦社会です。やれと言われたらや
るしかありません。歯科医として入りますと、幹部
候補生からです。駐屯地内には、赤、青、黄色の 3
つのラインがあって、階級によって歩いてよいとこ
ろから全て、分かれています。食事も就寝場所、お
風呂も違います。お風呂は、深さが 1.2 メートルくら
いあります。

夜 10 時消灯なのですが、朝になるまで絶対に部屋を
出てはいけません。トイレもいけません。部屋を出
て、外で何かあり、部隊が全滅する恐れがあるから
です。単独行動は許されません。もし見つかると全
員起こされ、連帯責任を取らされます。

毎日 30 キロの荷物を持って行軍しますので、とても
しんどい思いをします。極限の状態まで追い詰めら
れ、訓練から解放されると大好きになります。

《卓話》

「製菓用トンネルオープンと その業界について」

内外施設工業

グループホールディングス株式会社

代表取締役社長 林 克昌 様（東京 RC）

（紹介者：岩崎 智子会員）



内外施設工業グループホールディングスのもともとの母体である内外施設工業は昭和 22 年、冷凍製氷設備の設計施工会社として誕生致しました。現在では主に、大手食品メーカー様、食品・飲料容器のメーカー様を顧客に持ち、お客様の工場の生産ラインの産業空調や熱源供給設備の設計・施工、生産ラインの中の機械設備の設計・製造・据え付け・施工を、お客様から直接請け負い、お客様と共に開発をする技術開発の会社です。

内外ヴィッカーズは 1979 年、英国サイモン・ヴィッカーズ社と内外施設工業がフィフティ・フィフティで出資して出来たジョイント・ベンチャー企業でしたが、現在は内外施設工業グループホールディングスの 100%子会社となっております。この会社は、ビスケット、クラッカー、プリッツェルを焼成する 50~100m の製菓用ガス・ダイレクト・トンネルオープンと、生地を練るハイスピード・ミキサーを設計・製造・据え付けを生業としています。内外ヴィッカーズのガス・ダイレクト・トンネルオープンは、本日、私を藤沢ロータリークラブの卓話にお導きいただいた岩崎智子さんが社長をなさっている宝製菓様でもご愛用頂いております。そのオープンを採用頂いたのは岩崎智子社長のお爺様で、宝製菓の創業者であり、藤沢ロータリークラブのチャーターメンバーであらせられた岩崎裕倅様でした。今こ

うして、岩崎智子さんと、三代目同士でロータリークラブでのご縁もでき、藤沢ロータリークラブに卓話に来られたことに岩崎裕倅様、そして智子さんのお父様の岩崎好男前社長のお導きを感じております。ところで、この 50~100m クラスの大型トンネルオープン、どれくらいの寿命がおりと思われませんか？弊社の統計ですと平均して 40 年以上、場合によっては 50 年以上という長きに亘ってお客様にご愛用いただいております。「そんなに長持ちしては次が売れないんじゃないの？」とよく言われますが、まさにその通りなのです。ですから、現状、私共、内外ヴィッカーズの商いは、年間の売り上げの半分以上がこれらのオープンのメンテナンスやオーバーホール、加えて年間に平均して 2~3 本の新規のオープンを設計・製造・据え付けとなっております。一方で世界を見渡しますと、私たちと同じように、大型のトンネルオープンを製造販売している会社で老舗がいくつかあります。しかし、ここ数年で、これらの会社は皆、大手機械メーカーの傘下に入ってしまった。その結果、これらの老舗オープンメーカーが、新しいオーナーの大手機械メーカーの下で、自社の古いオープンに対するメンテナンスやオーバーホールを提供しなくなってしまいました。その結果弊社は、日本でそれら外国のオープンを使っているお客様からメンテナンスを頼まれる機会が増えました。結果として、既存の自社オープンのメンテナンスやオーバーホールを中心に、年平均 2~3 本のオープンで十分に商いする規模に会社を保つ、私共のやり方が功を奏したわけです。最後に技術的な進歩の話に致します。弊社がご提供するトンネルオープンは構造的には良く出来ていて、昔から大きな変化はありませんが、近年、弊社では、2 次空気管式バーナーシステムという画期的な技術を開発致しました。先にも述べました通り、ガス・ダイレクト・トンネルオープンはこれだけ長いものではありますが、新鮮な空気の取り入れ口は、入口・出口部分の 2 か所しかありません。50m ぐらいの長さですと実に 120 本ぐらいのパイプ・リボン・バーナーが内蔵されておりまして、炉内を 250~300℃ほどに保ちます。ご想像がつくかと思いますが、50m の炉内で火を燃やしますと、炉の中心に近づけば近づくほど、酸欠状態となってしまう、炉内に CO や NOx が発生し、それらはそのまま排気ファンで外に

排気してしまうこととなります。結果として、ガスを不完全燃焼のまま排気していることになるわけです。しかし、弊社の2次空気管式バーナーを導入すれば、120本それぞれのバーナーの炎口に適量の空気を供給することによって、完全燃焼させるため、同じ温度を保つために10~15%のガス消費量を減らすことが出来ます。同時に、燃焼安全を確保した上で排気量を絞ることが出来るため、炉内湿度をコントロールしやすくなり、その結果、炉内の温湿度が安定し、生地が入ってくる第一ゾーンで必要な湿度を管理できるようになり、焼きむらもなくなります。加えて、この2次空気管式バーナーシステムは、弊社のオープンであれば、何十年前にご購入いただいたオープンであっても、導入が可能です。このように、ニッチな業界ですが、世界的な業界再編の波にのまれぬよう、オーナーシップを大切にしながら、これからもお客様のお役に立ちますよう、サービスをご提供して参りたいと思います。



世界をマーケットとする、製菓用トンネルオープンとそのディープな業界について、岩崎会員のおじい様との長きにわたるご交流について、お話いただきました。

4年前、東京 RC メークアップツアーに藤沢 RC より伺いました際、林様は、クラブ幹事をお務めでいらっしゃいました。



本日のお料理



岩崎会員より林様のご紹介